

## 北海道大学創成研究機構化学反応創成研究拠点 (ICReDD)

### 令和2年度 MANABIYA (ACADEMIC) 2次募集 公募要領

北海道大学創成研究機構化学反応創成研究拠点 (ICReDD) では、平成30年度世界トップレベル研究拠点プログラム (WPI) に採択され、向こう10年間に渡る研究を開始しました。

ICReDD では、拠点長である前田理教授が開発した「人工力誘起反応法 (The AFIR method)」を基盤として、豊かで持続可能な人類の未来に欠かせない新しい化学反応の開発の効率化を加速するために、計算科学・情報科学・実験科学を統合した新しい学問領域「化学反応創成学」の確立を目指しています。

また、国際共同研究環境整備と世界スケールの高度人材育成の戦略的仕組み「MANABIYA (学び舎) システム」を構築し、国内外の大学や研究機関との連携体制を確立して、10年後には、世界のトップ研究者から若手研究者までが所属する数百人規模の巨大ネットワークの完成を目指しています。

#### 「MANABIYA (学び舎) システム」とは？

国内外の大学や研究機関の若手研究者や学生が、ICReDD に2週間から3か月までの期間滞在し、新しい化学反応を開発する手法を習得し、その過程で新たな研究シーズを発掘してゆくシステムです。ICReDD は、本システムにより若手研究者の人材育成と研究者が習得した手法を将来に渡って使い広めていく頭脳循環型社会の確立を目指します。10年後には、世界の多くの研究者が所属する巨大な研究者ネットワークとなり、この新たな化学反応創成学をさらに発展させることとなります。

この度、ICReDD では、国内外の大学や研究機関の若手研究者や学生が、ICReDD ならではの新しい化学反応を開発する手法を習得する MANABIYA (ACADEMIC) の、令和2年度の2次募集の公募を以下のとおり行いますので、本公募要領の詳細について十分ご確認の上、期日までに応募願います。

#### 1. 受入期間

令和3年1月1日から令和3年3月31日までの間で2週間から3か月までの期間。

#### 2. 応募方法

##### 2-1. 申請資格

国内並びに海外の大学、国公立および独立行政法人の研究機関に所属する研究者、またはこれに準ずる者 (例えば大学院生) とします。国籍は問いません。

##### 2-2. 受入予定数 (令和2年度)

20名

##### 2-3. 実施場所

北海道大学創成研究機構化学反応創成研究拠点 (ICReDD)

住所：北海道札幌市北区北21条西10丁目 北海道大学創成科学研究棟内

##### 2-4. 希望受入教員

希望する受入教員については、

<https://www.icredd.hokudai.ac.jp/ja/manabiya/manabiya-topics> を参照願います。

##### 2-5. 申請書の提出期限および提出先

応募に当たっては、別紙1「MANABIYA (ACADEMIC) 申請書」に必要事項を記入し、令和2年11月30日 (月) までに、下記提出先宛てに電子メール添付書類 (Word ファイル) として提出願います。

○提出先および問い合わせ先

北海道大学創成研究機構化学反応創成研究拠点事務室 (担当：石倉，堀井)

E-mail: [manabiya@icredd.hokudai.ac.jp](mailto:manabiya@icredd.hokudai.ac.jp), 電話: (011)706-9645

#### 3. 選考と採択通知

応募にかかる採否は、ICReDD 運営委員会の議を経て決定されます。採否の結果 (内定) については、令和2年12月に ICReDD 拠点長から申請者に通知します。

#### 4. 交通費および滞在費の支給

MANABIYA (ACADEMIC) の受入が決定した研究者（以下「MANABIYA 研究者」という。）には、北海道大学の旅費規則に従った交通費（往復）および滞在期間に応じた滞在費を支給します。ただし、交通費および滞在費の支給上限金額は 50 万円とします。以下に、滞在期間に応じたおおよその支給金額を例示します。

滞在期間（例）	おおよその支給金額（※50 万円を超えた場合は、50 万円）
2 週間の場合	往復の交通費＋滞在費（7 万円）の合計額
1 か月の場合	往復の交通費＋滞在費（15 万円）の合計額
1 月半の場合	往復の交通費＋滞在費（22 万円）の合計額
2 か月の場合	往復の交通費＋滞在費（30 万円）の合計額
2 月半の場合	往復の交通費＋滞在費（37 万円）の合計額
3 か月の場合	往復の交通費＋滞在費（45 万円）の合計額

なお、MANABIYA 研究者が外国籍の場合は、北海道大学の外国人研究者等宿泊施設 <https://www.oia.hokudai.ac.jp/cier/foreign-scholars-accommodation/> を利用することができます。日本国籍の研究者および宿泊施設に空きがない場合は、民間の宿泊施設をご利用ください。

#### 5. 実施および成果報告等

##### 5-1. 必要経費等

MANABIYA 研究者が使用する教材および資料代、計算機及び機器使用料、試薬・材料費、光熱水料は、ICReDD が負担します。これ以外の経費（食費、通学費、その他生活費を含む。）は MANABIYA 研究者の負担となります。なお、MANABIYA 研究者は、自らの負担で受入期間に応じた傷害保険等の加入が必要です。

##### 5-2. 秘密保持

MANABIYA 研究者は、MANABIYA (ACADEMIC) で習得した手法以外の研究情報の保持義務を遵守していただきます。そのため、受け入れ時に、秘密情報保持に関する「誓約書」にサインしていただきます。

##### 5-3. 成果報告書の提出

習得が修了した MANABIYA 研究者は、別紙 2 「MANABIYA (ACADEMIC) 成果報告書」を記載の上、提出していただきます。その報告書は、まとめて ICReDD の研究報告書等として公開される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

##### 5-4. 成果報告書の提出期限および提出先

成果報告書の提出締切日は、滞在期間終了日の翌日から 1 か月以内とします。電子メール添付書類（Word ファイル）にて、下記提出先宛てに提出願います。

○提出先および問い合わせ先

北海道大学創成研究機構化学反応創成研究拠点事務室（担当：石倉，堀井）

E-mail: [manabiya@icredd.hokudai.ac.jp](mailto:manabiya@icredd.hokudai.ac.jp), 電話：(011)706-9645

##### 5-5. MANABIYA (ACADEMIC) 証明書の交付

成果報告書が受理された MANABIYA 研究者には、習得の証として「MANABIYA (ACADEMIC) 証明書」を交付します。

##### 5-6. 研究成果の公開

MANABIYA 研究者が習得した手法を使って行った研究の成果を学術論文などに公開する場合には、上記 5-3. の成果報告書の提出先まで事前にご連絡願います。また、ICReDD で習得した技術を用いたことを明記してください。英文での謝辞例を次に示します。

謝辞例：In this study, “your name” used “the techniques” learned at the Institute for Chemical Reaction Design and Discovery (ICReDD), Hokkaido University, which was established by World Premier International Research Initiative (WPI), MEXT, Japan.  
※ “your name” と “the techniques” は適宜変更願います。